決算公告

第19期決算公告（2025年3月期）

貸借対照表・個別注記表

ダイヤモンドヘッド株式会社

貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,245,652	流動負債	3,784,006
現金及び預金	2,785,830	買掛金	574,932
売掛金	710,263	一年以内返済予定長期借入金	77,100
売上預け金	44,640	未払金	2,502,351
契約資産	83,385	未払費用	34,976
商品	264,174	未払消費税	74,268
立替金	3,838	未払賃金給与	147,246
前払費用	256,203	給与関連預り金	13,506
前払金	14,002	前受金	16,990
短期従業員貸付金	1,861	預り金	297,243
未収金	1,073,459	賞与引当金	29,806
預け金	12,290	賞与引当金(法定福利費)	5,267
貸倒引当金	△4,490	役員賞与引当金	6,200
その他	193	損害補償引当金	3,955
固定資産	1,478,364	その他	160
有形固定資産	258,528	固定負債	313,839
建物附属設備	233,501	長期借入金	157,250
器具備品	22,149	リース債務	40
機械及び装置	2,696	繰延税金負債	93,436
リース資産	180	資産除去債務	63,113
無形固定資産	296,477	負債合計	4,097,846
商標権	528	(純資産の部)	
ソフトウェア	275,608	株主資本	2,416,670
ソフトウェア仮勘定	20,340	資本金	100,000
投資その他の資産	923,359	資本剰余金	147,449
投資有価証券	678,015	その他の資本剰余金	147,449
敷金及び保証金	189,210	利益剰余金	2,169,221
前払年金費用	32,596	その他利益剰余金	2,169,221
長期前払費用	19,353	繰越利益剰余	2,169,221
総合福祉団体定期保険	2,490	(うち当期純利益)	304,280
従業員長期貸付金	1,692	評価・換算差額等	209,500
		その他の有価証券評価差額金	209,500
		純資産合計	2,626,170
資産合計	6,724,017	負債・純資産合計	6,724,017

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・仕掛品・・・先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用のソフトウェア

定額法（利用可能期間（5年以内））を採用しております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員への賞与支給に備えるための、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

取締役および監査役への賞与支給に備えるための、支給見込額を計上しております。

(4) 退職給与引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務及び年金資金の見込額に基づき計上しております。

計数計算上の差異は、各期の発生期における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）にわたり、それぞれ発生翌期から均等償却することとしております。

(5) 損害補償引当金

クレジットカードの不正利用による将来の損失に備えるため、過去の不正利用率に基づき発生すると見込損失額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 収益認識基準の変更

当社は、令和6年10月1日に当社が存続会社となりSCSKプレッシュェンド株式会社を吸収合併致しました。合併に消滅会社が適用していた収益基準に関する会計基準の「企業会計基準第29号」の約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識している処理を合併後も適用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」（企業会計基準第 31 号 2020 年 3 月 31 日）を当事業年度から適用し、計算書類に会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

繰延税金資産	45,266 千円
繰延税金負債	138,702 千円

識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積っております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動や税制改正による実効税率の変更などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

4. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	472,443 千円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	5,445 千円
短期金銭債務	3,951 千円

5. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	267,260 千円
仕入高	47,714 千円
販管費	209,420 千円
営業取引以外の取引による取引高	
出向負担金	33,399 千円

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数	
普通株式	12,170 株
2. 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数、 該当事項ありません。	

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
短期商品	6,079 千円
資産除去資産	22,133 千円
障害者雇用納付金	280 千円
損害補償引当金	1,387 千円
賞与引当金	12,300 千円
未払事業所税	3,084 千円
繰延税金資産合計	45,266 千円

繰延税金負債	
長期建物附属設備	13,242 千円
その他有価証券評価差額金	113,155 千円
年金前払費用	11,431 千円
総合福祉団体定期保険	873 千円
繰延税金負債合計	138,702 千円
差引：繰延税金負債純額	93,436 千円

8. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の 所有（被所有）割合	関連事業者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
親会社	SCSK株式会社	(60.32%)	役務の提供	システム販売	106,521	売掛金	5,445
				仕入+経費	39,064	未払金	3,951
親会社の 子会社	SCSKプレッシェ ンド株式会社	—	役務の提供	システム販売	160,739	売掛金	—
				仕入+経費	218,070	買掛金	—

- (注) 1. 取引金額には消費税等を含んでおりませんが、期末残高には消費税等を含んでおります。
2. SCSKプレッシェンド株式会社はSCSK株式会社の子会社であり、令和6年10月1日付にて当社が吸収合併した。

2. 持分法損益等

該当事項ありません。

3. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有していません。

9. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	215,790円52銭
1株当たり当期純利益	30,723円20銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項ありません。